

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年8月6日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	袋井市	代表者名	袋井市長 原田英之
担当者部署	企画財政部	連絡先電話番号	0538-44-3106
担当者役職		担当者氏名	
住所	437-8666 静岡県袋井市新屋1-1-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	金子 春雄
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	我が国が今後直面する人口減少、少子高齢化による社会環境の変化を捉え、現状のサービスや産業を維持するために、どのようなICTが、こういった場面で活用できるか、わかりやすく解説いただき、理解を深めることができた。また、国や地域の将来を見通しICTに長けた人材を輩出するため、小学生へのプログラミング教室や高校生のプログラミングコンテストへの参加支援など、人材育成や地域づくり、社会貢献などソフト、ハードの両面からお話いただき大変参考となった。
アドバイザーへの要望事項	今回の講演会は、市と市議会などがICTやデータ活用に関する情報を共有化し、今後のICTを生かしたまちづくりに向けた足並みを揃えることがねらいであったため、内容が多岐に渡ったが、今後は具体的な事業や取組を掘り下げた講義をお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年6月26日	15時00分	17時45分		165
3-2. 派遣場所	会場名	袋井市役所		最寄駅	袋井駅
	所在地	静岡県袋井市新屋1-1-1			
	最寄駅からの交通手段	徒歩5分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

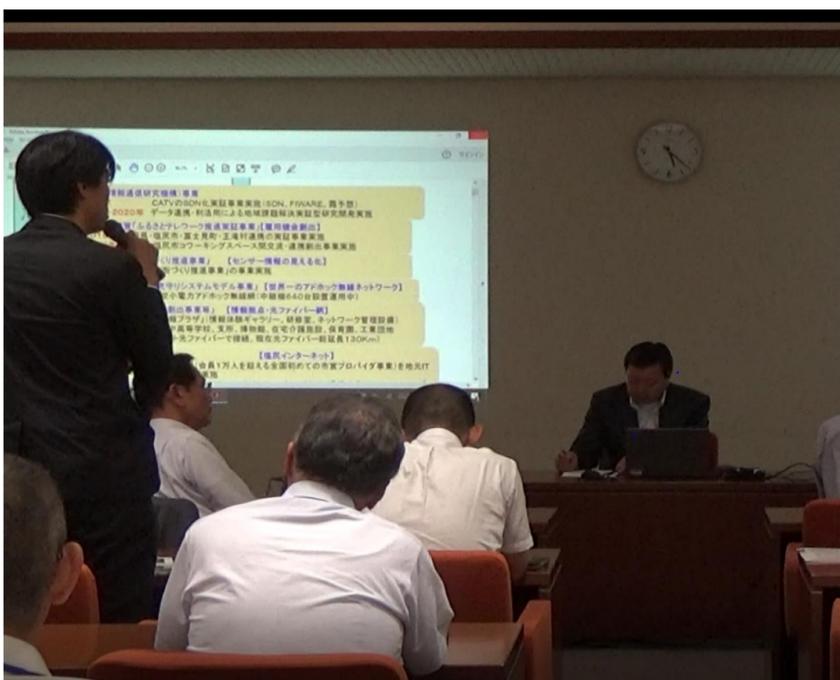
掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市幹部職員、市議会議員、市民代表	75人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	ICTやデータ活用に関する情報共有 本市は、平成31年3月に「第3次袋井市ICT推進計画・官民データ活用推進計画」を策定し、産学官民がICTやデータを生かし、地域課題の解決や新たな価値創造に取り組むこととした。このため、計画を推進するにあたり、まずは先端技術の動向やICTを生かしたまちづくりのイメージを市民と行政が共有する必要がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	社会環境の変化に伴う地域課題の共有 2040年問題を踏まえ、超高齢化に伴う生産年齢人口の減少により行政サービスの低下やコミュニティの崩壊を招かないためにも、2040年からバックキャストして、人口減少を補完できるICTやデータ活用をはじめなければならない。このために必要な取組を官民で推進するためのポイントを理解する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	講義(セミナー)を通じて、塩尻市をはじめ様々な取組事例を紹介。課題解決に向けた企画立案から実行までのプロセスを丁寧に解説いただいた。 質疑の時間も多めにとっていただき、議会や市民の代表からの具体的な質問について詳細に回答いただいたことで、ICTまちづくりを自分事として捉えることができるようになったと思う。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	市民のICTまちづくりに向けた意識づけになった。 行政にあっては、経営層がICT導入のポイントを理解できたことから、今後、施策へのフィードバックが期待できる。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた 産学官民が連携してICTを生かしたまちづくりに取り組む必要性について意識の共有化が図られた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	計画を実行するために必要な情報共有を図ることができた。今後は、具体的な取組につなげるためのアクションプランを策定する必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	講師から、本市ICT化に向けた継続的な支援をいただけることとなった。本市のICT化に向けた基盤整備について事業計画を策定する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で書き込んで下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年8月6日
 派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	袋井市	代表者名	袋井市長 原田英之
担当者部署	企画財政部	連絡先電話番号	0538-44-3106
担当者役職	主幹兼係長	担当者氏名	小柳津和彦
住所	437-8666 静岡県袋井市新屋1-1-1		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	金子 春雄
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	現役の行政職員である講師だからこそ、行政の強み、弱みを踏まえた的確なICT利活用に関する助言ができていたと思う。今回は、前半で講義を受けたのち、後半は6~7人が3テーブルに分かれてアイデアソンを実施。講義の内容を生かした実践的な企画立案能力の形成につながる取組となった。
アドバイザーへの要望事項	姉妹都市である塩尻市の職員と交流できる機会を設け、金子氏を講師とした合同アイデアソンを開催できないか。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2019年6月27日	9時00分	12時30分	10	200
3-2. 派遣場所	会場名	袋井市役所		最寄駅	袋井駅
	所在地	静岡県袋井市新屋1-1-1			
	最寄駅からの交通手段	徒歩5分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員	20 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	政策課題とICTを結び付けて事業化するための政策形成能力が乏しい。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	行政サービスの改善や地域課題を解決に求められる事業立案のための視点を養う。利用者目線でサービスデザインを思考する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	ICTやデータ利活用に関する基本的な情報の共有と、ICTを活用した施策立案に向けた手法と実践。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	ICT施策につなげるためのアイデアソンの実施によって、各参加からの意見の引き出し方や意見集約、企画立案に至るプロセスを確認できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない ICTやデータを生かした政策立案能力の向上が図られた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	職員の政策形成能力を高めるには、こうした機会を定期的かつ継続的に行う必要がある。また、研修に留めず実証実験などにつなげることも必要である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり報告書としてまとめた。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	庁内横断的なICT利活用の推進につなげる。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

